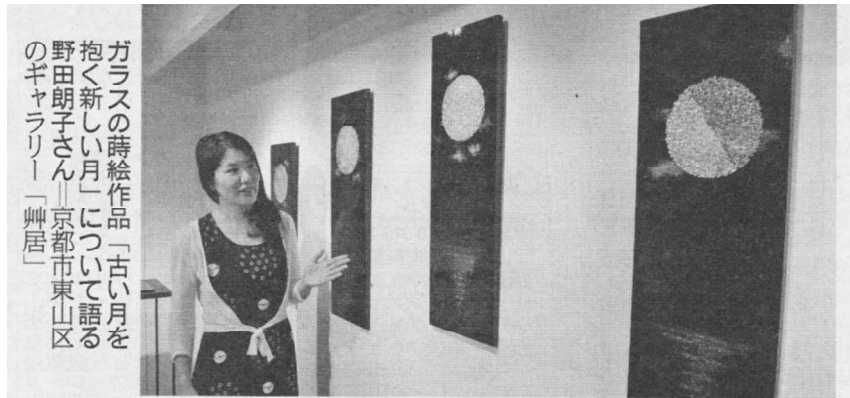




産 経 新 聞

平成28年(2016年)8月20日 土曜日

産経新聞 2016年8月20日(土)
京都欄にて 野田朗子展の記事掲載



ガラスの蒔絵作品「古い月を抱く新しい月」について語る野田朗子さん―京都市東山区のギャラリー「艸居」

東山区のギャラリー

京都在住のガラス作家、野田朗子さん(40)の個展「月を待つ」が19日、京都市東山区のギャラリー「艸居」で始まった。月をテーマにしたガラス芸術の新作37点を展示している。28日まで(月曜休館)。

野田さんは京都で生まれ、さまざまな伝統行事の中で四季を感じて育ったが、東京の広告代理店で勤務しているとき、忙しさの中で人々が四季や自然をじかに感じられなくなっていることに気づいたという。

芸術で自然の移ろいを表現し、鑑賞者に自分を見つめ直すきっかけにしてみようと、東京芸大大学院でガラス工学を学び、アーティストに。平成25年には日本現代工芸美術展に初出

ガラス芸術の「月」愛でる

展でグランプリの現代工芸大賞を受賞している。

これまでハスの花びらなどの作品を手がけてきたが、今回の個展では秋の到来を前に、日本人が古来愛し続けてきた月を題材に選んだ。

連作「古い月を抱く新しい月」は漆を使ってガラスの蒔絵に挑戦した意欲作で、新月から満月までの移ろいを表現。ほかにも、手水鉢に映る月を作品化した「心の月」、月の中に星空をイメージした「夜のダイヤモンド」など、さまざまな技法を駆使した作品が並ぶ。

野田さんは「月は移ろいゆくものだから、はかなく美しく、そして強い。そんなもののおはれ」を形にしました。ガラスの織りなす光と影を楽しんでください」と話している。

現代美術 艸居

605-0089 京都市東山区古門前通縄手東入ル元町381-2

TEL: 075-746-4456 FAX: 075-746-4457